

演習問題

※症例5～症例7は、多重がん判定も行ってください。

採用したルール(肺 等)、判定決定したルール(M●)、
判定結果(単発 or 多重)を回答欄に記載してください。

※登録対象になる症例に対して、各項目の登録内容を
回答用紙に記載してください。

<症例 1> 68 歳 男性

【現病歴】

2024 年 6 月初めから舌背面に違和感を自覚。6 月 17 日 B クリニック受診。舌癌の疑いで当院へ紹介。

【経過】

2024 年 6 月 24 日 当院紹介初診。

右舌背面～舌縁かけて 10mm 程度の病変を認め、病変部の生検施行。

2024 年 7 月 1 日 生検結果 『Squamous cell carcinoma』

2024 年 7 月 5 日 頭頸部 CT、MRI 施行。

腫瘍は 20mm×15mm 径、深達度 7mm。右頸部リンパ節に転移と考える 10mm 径の腫大を認める。

舌癌で手術、術後化学放射線療法を行う旨、本人と家族に説明された。

2024 年 7 月 16 日 手術目的で入院。

2024 年 7 月 18 日 舌可動部半側切除術施行。

2024 年 7 月 24 日 化学療法開始。

2024 年 8 月 7 日 放射線療法開始。

2024 年 8 月 19 日 経過良好にて退院。

【病理報告】

Squamous cell carcinoma, well differentiated

腫瘍は 20mm×25mm(浸潤径 15mm×20mm)、深達度 7mm の浸潤がん。舌背面から舌縁に拡がり、胞巣状に舌筋深層内へ進展している。断端陰性。

郭清リンパ節 (4/9、最大径 15mm):右深頸部リンパ節 2/3、右顎下リンパ節 1/3、

オトガイリンパ節 1/3

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 2> 62 歳 男性

【現病歴】

2024 年 5 月 21 日鼻出血、鼻閉を主訴に D 耳鼻咽喉科を受診。

鼻腔ファイバーにて右鼻腔外側壁に易出血性の腫瘤を認め、生検施行。

5 月 24 日生検の結果『Squamous cell carcinoma』。鼻腔癌の診断で加療目的に当院紹介。

【経過】

2024 年 6 月 6 日 当院初診。

2024 年 6 月 13 日 頭頸部 CT 施行。

「腫瘍は、5 cm × 3cm で、右外側壁から右上顎洞へ広がっています。頸部リンパ節への転移は認められません。」

2024 年 6 月 16 日 頭頸部 MRI を施行。

「右鼻腔内の腫瘍は、右上顎洞に侵入し、下鼻甲介の一部も巻き込んでいます。」

2024 年 6 月 27 日 前医での生検結果、画像所見から右鼻腔原発の癌と診断。

本人と家族に「鼻腔癌と診断したこと、外科的切除を行い、術後放射線治療を行う」ことを説明。

2024 年 7 月 9 日 治療目的に入院。

2024 年 7 月 11 日 腫瘍摘出術施行。

2024 年 7 月 25 日 放射線治療開始。

2024 年 8 月 2 日 経過良好の為、退院

【病理報告】

Squamous cell carcinoma, well differentiated

右鼻腔外側壁を原発とする 5 × 3 × 2cm の腫瘍で、下鼻甲介、上顎洞への拡がりが見られます。

切除断端に腫瘍の露出はなく、郭清したリンパ節に転移を認めません。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 3> 73 歳 女性

【現病歴】

2024 年 6 月 6 日右頸部の腫瘍が気になり、B 医院受診。喉頭鏡で下咽頭にびらん性の病変を認め、下咽頭癌の疑いで、精査目的に当院紹介。

【経過】

- 2024 年 6 月 17 日 当院初診。
右頸部リンパ節に 1cm 径の可動性の腫大を触知。
喉頭鏡で、輪状後部から右梨状陥凹にかけて 4cm 径のびらん性病変を認める。右声帯の可動がみられない。輪状後部から生検施行。
- 2024 年 6 月 21 日 頭頸部 MRI 施行。輪状後部から右梨状陥凹にかけて 4×5cm の腫瘍性病変を認める。
左右深頸リンパ節に転移と考える最大径 1.5cm の腫大を複数認める。
- 2024 年 6 月 27 日 生検結果「Squamous cell carcinoma」。
輪状後部原発の下咽頭癌の診断で、頸部リンパ節郭清術後、化学放射線療法を行う旨、本人と家族に説明。
- 2024 年 7 月 8 日 治療目的に入院。
- 2024 年 7 月 10 日 頸部リンパ節郭清術施行。
- 2024 年 7 月 16 日 化学療法開始。
- 2024 年 7 月 29 日 放射線療法開始。
- 2024 年 8 月 9 日 経過良好の為、退院。

【病理報告】

Squamous cell carcinoma

頸部郭清リンパ節(5/10、最大径 2cm):左 中・下内深頸リンパ節 1/5、右 中・下内深頸リンパ節 4/5
郭清されたリンパ節のうち、右 下内深頸リンパ節の 2 個に、被膜外進展を認めた。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 4> 75 歳 男性

【現病歴】

嚔声があり、2024 年 5 月 27 日 A 耳鼻咽喉科を受診。喉頭鏡で喉頭蓋下部に腫瘤を認め、生検施行。
6 月 6 日生検結果が Squamous cell carcinoma であったため、喉頭癌の診断で加療目的に当院紹介。

【経過】

2024 年 6 月 17 日 当院初診。

喉頭鏡で、舌骨下喉頭蓋を主部として、右仮声帯にかけて、20mm 径の潰瘍を伴う腫瘤性病変を認めた。右声帯に固定を認めます。喉頭蓋から生検施行。

2024 年 6 月 20 日 頸部 MRI 施行。

「腫瘍は、喉頭蓋内の喉頭軟骨を巻き込んで、甲状軟骨へのわずかな進展を認めます。右内深頸リンパ節に転移と考えられる 10mm 径の腫大を複数認めます。」

2024 年 6 月 27 日 生検結果「Squamous cell carcinoma」。

舌骨下喉頭蓋原発の喉頭癌の診断で、喉頭全摘出術後、化学放射線療法を行う旨、本人と家族に説明。

2024 年 7 月 16 日 治療目的に入院。

2024 年 7 月 18 日 喉頭全摘術、両頸部郭清術を施行。

2024 年 7 月 26 日 化学療法開始。

2024 年 7 月 29 日 放射線療法開始。

2024 年 8 月 20 日 経過良好の為、退院。

【病理報告】

Squamous cell carcinoma , Moderately differentiated

腫瘍は 20×25mm の中分化扁平上皮癌で、舌骨下喉頭蓋を主部として、右仮声帯、右声帯へ拡がっています。また甲状軟骨への浸潤を認めた。腫瘍の断端も陰性です。

郭清リンパ節(4/13、最大径 10mm) 右上内深頸 3/7、左上内深頸 1/6 節外浸潤は認めません。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 5> 58 歳 女性

【現病歴】

2018 年 1 月終わりからのどの違和感を自覚。2 月 25 日自施設受診。中咽頭後壁に腫瘤を認め、6 月 28 日生検施行。生検結果「Squamous cell carcinoma, p16 陰性」。CT、MRI 検査から腫瘍径 15mm。周囲への進展なし。リンパ節腫大なし。中咽頭癌と診断し、本人・家族に説明。7 月 16 日放射線療法開始。7クール終了後、腫瘍はほぼ消失と判断され、以後経過観察を行っている。

【経過】

- 2024 年 6 月 28 日 定期フォローのため受診。
中咽頭左側壁にびらん性病変を認め、中咽頭癌再発の診断で生検施行。
- 2024 年 7 月 10 日 生検結果 『Squamous cell carcinoma, p16 陰性。2018 年の腫瘍の再発とは考えにくい。』
- 2024 年 7 月 16 日 頭頸部 CT、MRI 施行。
「腫瘍は 15mm × 10mm 径。腫瘍は中咽頭左側壁から後壁まで進展している。左頸部リンパ節に転移と考える最大径 10mm の腫大を認めます。」
中咽頭癌の診断で、化学放射線療法を行う旨、本人と家族に説明された。
- 2024 年 8 月 5 日 治療目的で入院。
- 2024 年 8 月 7 日 化学放射線療法開始。
- 2024 年 8 月 28 日 経過良好にて退院。

症例番号

採用ルール	多重がん判定	
		760 内分泌療法
		761 内分泌療法 施行日
【699】腫瘍情報テキストへのコメント		765 内分泌療法 (開始前・他施設)
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)
		770 その他の治療
110 重複番号	700 外科的治療	775 その他の治療 (開始前・他施設)
140 性別	701 外科的治療 施行日	776 その他の治療 (開始後・他施設)
300 原発部位 《局在コード》	705 外科的治療 (開始前・他施設)	780 経過観察選択
309 原発部位 《テキスト》	706 外科的治療 (開始後・他施設)	790 緩和的治療
	710 鏡視下治療	
310 側性	711 鏡視下治療 施行日	510 UICC cT
320 病理診断 《形態コード》	715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	520 UICC cN
329 病理診断 《テキスト》	716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	530 UICC cM
	720 内視鏡的治療	540 UICC c 付加因子
	721 内視鏡的治療 施行日	500 UICC c ステージ
330 診断根拠	725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
350 当該腫瘍初診日	726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	550 規約肝 c ステージ
360 他施設診断日	730 観血的治療範囲	
370 自施設診断日	740 放射線療法	610 UICC pT
380 診断日	741 放射線療法 施行日	620 UICC pN
400 診断施設	745 放射線療法 (開始前・他施設)	630 UICC pM
410 治療施設	746 放射線療法 (開始後・他施設)	640 UICC p 付加因子
420 症例区分	750 化学療法	600 UICC p ステージ
450 来院経路	751 化学療法 施行日	
460 発見経緯	755 化学療法 (開始前・他施設)	580 c 進展度
470 病名告知の有無	756 化学療法 (開始後・他施設)	680 p 進展度

症例番号

採用ルール	多重がん判定	
		760 内分泌療法
		761 内分泌療法 施行日
【699】腫瘍情報テキストへのコメント		765 内分泌療法 (開始前・他施設)
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)
		770 その他の治療
110 重複番号	700 外科的治療	775 その他の治療 (開始前・他施設)
140 性別	701 外科的治療 施行日	776 その他の治療 (開始後・他施設)
300 原発部位 《局在コード》	705 外科的治療 (開始前・他施設)	780 経過観察選択
309 原発部位 《テキスト》	706 外科的治療 (開始後・他施設)	790 緩和的治療
	710 鏡視下治療	
310 側性	711 鏡視下治療 施行日	510 UICC cT
320 病理診断 《形態コード》	715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	520 UICC cN
	716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	530 UICC cM
329 病理診断 《テキスト》	720 内視鏡的治療	540 UICC c 付加因子
	721 内視鏡的治療 施行日	500 UICC c ステージ
330 診断根拠	725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
350 当該腫瘍初診日	726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	550 規約肝 c ステージ
360 他施設診断日	730 観血的治療範囲	
370 自施設診断日	740 放射線療法	610 UICC pT
380 診断日	741 放射線療法 施行日	620 UICC pN
400 診断施設	745 放射線療法 (開始前・他施設)	630 UICC pM
410 治療施設	746 放射線療法 (開始後・他施設)	640 UICC p 付加因子
420 症例区分	750 化学療法	600 UICC p ステージ
450 来院経路	751 化学療法 施行日	
460 発見経緯	755 化学療法 (開始前・他施設)	580 c 進展度
470 病名告知の有無	756 化学療法 (開始後・他施設)	680 p 進展度

<症例 6> 67 歳 男性

【現病歴】

頸部のしこりと のどの痛みを主訴に、2024 年 2 月 16 日自施設耳鼻咽喉科受診。

【経過】

- 2024 年 2 月 16 日 当院初診。
触診で左上頸部にリンパ節腫大を認める。
喉頭鏡検査にて、上咽頭から中咽頭後壁に 20mm 径のびらん性病変、下咽頭後壁に 10mm 径のびらん性病変を確認。両病変から生検施行。
- 2024 年 2 月 26 日 頭頸部 CT、MRI 施行。上咽頭後壁から中咽頭後壁にかけて 20mm 径の腫瘍。間質への浸潤がみられます。
下咽頭の腫瘍は間質への浸潤を認めず、上皮内癌と考える。
輪状軟骨より上方の左上内深頸リンパ節に腫大を認め、リンパ節転移と考えます。
- 2024 年 3 月 4 日 生検結果 『上咽頭:Squamous cell carcinoma, EB ウイルス陰性』、
『下咽頭:Squamous cell carcinoma in situ』。
上咽頭と下咽頭にそれぞれ別の癌が見つかったこと、上咽頭の腫瘍には化学放射線療法、下咽頭の腫瘍は経口的切除術(内視鏡的切除術)を行うこと、上咽頭への治療を優先して行うことを、本人と家族に説明。
- 2024 年 3 月 27 日 治療目的に入院。
- 2024 年 3 月 29 日 化学放射線療法開始。
- 2024 年 4 月 18 日 経過良好の為、退院。以後、外来で治療継続。
- 2024 年 8 月 5 日 治療目的に入院。
- 2024 年 8 月 6 日 内視鏡的切除術施行。
- 2024 年 8 月 10 日 経過良好の為、退院。

【病理報告】

Squamous cell carcinoma in situ

腫瘍は 10×8mm 径、粘膜上皮内にとどまっている。切除断端(一)

症例番号

採用ルール	多重がん判定	
		760 内分泌療法
		761 内分泌療法 施行日
【699】腫瘍情報テキストへのコメント		765 内分泌療法 (開始前・他施設)
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)
		770 その他の治療
110 重複番号	700 外科的治療	775 その他の治療 (開始前・他施設)
140 性別	701 外科的治療 施行日	776 その他の治療 (開始後・他施設)
300 原発部位 《局在コード》	705 外科的治療 (開始前・他施設)	780 経過観察選択
309 原発部位 《テキスト》	706 外科的治療 (開始後・他施設)	790 緩和的治療
	710 鏡視下治療	
310 側性	711 鏡視下治療 施行日	510 UICC cT
320 病理診断 《形態コード》	715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	520 UICC cN
329 病理診断 《テキスト》	716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	530 UICC cM
	720 内視鏡的治療	540 UICC c 付加因子
	721 内視鏡的治療 施行日	500 UICC c ステージ
330 診断根拠	725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
350 当該腫瘍初診日	726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	550 規約肝 c ステージ
360 他施設診断日	730 観血的治療範囲	
370 自施設診断日	740 放射線療法	610 UICC pT
380 診断日	741 放射線療法 施行日	620 UICC pN
400 診断施設	745 放射線療法 (開始前・他施設)	630 UICC pM
410 治療施設	746 放射線療法 (開始後・他施設)	640 UICC p 付加因子
420 症例区分	750 化学療法	600 UICC p ステージ
450 来院経路	751 化学療法 施行日	
460 発見経緯	755 化学療法 (開始前・他施設)	580 c 進展度
470 病名告知の有無	756 化学療法 (開始後・他施設)	680 p 進展度

症例番号

採用ルール	多重がん判定	
		760 内分泌療法
		761 内分泌療法 施行日
【699】腫瘍情報テキストへのコメント		765 内分泌療法 (開始前・他施設)
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)
		770 その他の治療
110 重複番号	700 外科的治療	775 その他の治療 (開始前・他施設)
140 性別	701 外科的治療 施行日	776 その他の治療 (開始後・他施設)
300 原発部位 《局在コード》	705 外科的治療 (開始前・他施設)	780 経過観察選択
309 原発部位 《テキスト》	706 外科的治療 (開始後・他施設)	790 緩和的治療
	710 鏡視下治療	
310 側性	711 鏡視下治療 施行日	510 UICC cT
320 病理診断 《形態コード》	715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	520 UICC cN
	716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	530 UICC cM
329 病理診断 《テキスト》	720 内視鏡的治療	540 UICC c 付加因子
	721 内視鏡的治療 施行日	500 UICC c ステージ
330 診断根拠	725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
350 当該腫瘍初診日	726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	550 規約肝 c ステージ
360 他施設診断日	730 観血的治療範囲	
370 自施設診断日	740 放射線療法	610 UICC pT
380 診断日	741 放射線療法 施行日	620 UICC pN
400 診断施設	745 放射線療法 (開始前・他施設)	630 UICC pM
410 治療施設	746 放射線療法 (開始後・他施設)	640 UICC p 付加因子
420 症例区分	750 化学療法	600 UICC p ステージ
450 来院経路	751 化学療法 施行日	
460 発見経緯	755 化学療法 (開始前・他施設)	580 c 進展度
470 病名告知の有無	756 化学療法 (開始後・他施設)	680 p 進展度

<症例 7> 53 歳 女性

【現病歴】

2022 年 10 月会話がうまくできなくなり、近医受診。脳腫瘍を疑われ、当院紹介受診。

【経過】

2022 年 10 月 11 日 当院紹介初診。

2022 年 10 月 20 日 造影 CT、MRI 施行。

左側頭葉に 30×20mm の髄膜腫と診断。

症状があり、手術摘出と判断され、本人と家族に説明された。

2022 年 11 月 22 日 治療目的に入院。

2022 年 11 月 24 日 腫瘍摘出術施行。

腫瘍は取り切れたので、今後は経過観察とする。

2022 年 12 月 13 日 経過良好にて退院。

2024 年 7 月 16 日 フォローアップにて MRI 施行。右前頭葉に腫瘍径 10×8mm の髄膜腫を確認。

半年後、次回 MRI 予定。

≪病理報告≫

Meningioma

腫瘍径は 30×20mm。腫瘍細胞が充実性に増殖し、分葉状構造を呈している。

Ki-67 染色率 2%程度で WHO grade1。

症例番号

採用ルール	多重がん判定	
		760 内分泌療法
		761 内分泌療法 施行日
【699】腫瘍情報テキストへのコメント		765 内分泌療法 (開始前・他施設)
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)
		770 その他の治療
110 重複番号	700 外科的治療	775 その他の治療 (開始前・他施設)
140 性別	701 外科的治療 施行日	776 その他の治療 (開始後・他施設)
300 原発部位 《局在コード》	705 外科的治療 (開始前・他施設)	780 経過観察選択
309 原発部位 《テキスト》	706 外科的治療 (開始後・他施設)	790 緩和的治療
	710 鏡視下治療	
310 側性	711 鏡視下治療 施行日	510 UICC cT
320 病理診断 《形態コード》	715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	520 UICC cN
329 病理診断 《テキスト》	716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	530 UICC cM
	720 内視鏡的治療	540 UICC c 付加因子
	721 内視鏡的治療 施行日	500 UICC c ステージ
330 診断根拠	725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
350 当該腫瘍初診日	726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	550 規約肝 c ステージ
360 他施設診断日	730 観血的治療範囲	
370 自施設診断日	740 放射線療法	610 UICC pT
380 診断日	741 放射線療法 施行日	620 UICC pN
400 診断施設	745 放射線療法 (開始前・他施設)	630 UICC pM
410 治療施設	746 放射線療法 (開始後・他施設)	640 UICC p 付加因子
420 症例区分	750 化学療法	600 UICC p ステージ
450 来院経路	751 化学療法 施行日	
460 発見経緯	755 化学療法 (開始前・他施設)	580 c 進展度
470 病名告知の有無	756 化学療法 (開始後・他施設)	680 p 進展度

症例番号

採用ルール	多重がん判定	
		760 内分泌療法
		761 内分泌療法 施行日
【699】腫瘍情報テキストへのコメント		765 内分泌療法 (開始前・他施設)
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)
		770 その他の治療
110 重複番号	700 外科的治療	775 その他の治療 (開始前・他施設)
140 性別	701 外科的治療 施行日	776 その他の治療 (開始後・他施設)
300 原発部位 《局在コード》	705 外科的治療 (開始前・他施設)	780 経過観察選択
309 原発部位 《テキスト》	706 外科的治療 (開始後・他施設)	790 緩和的治療
	710 鏡視下治療	
310 側性	711 鏡視下治療 施行日	510 UICC cT
320 病理診断 《形態コード》	715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	520 UICC cN
	716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	530 UICC cM
329 病理診断 《テキスト》	720 内視鏡的治療	540 UICC c 付加因子
	721 内視鏡的治療 施行日	500 UICC c ステージ
330 診断根拠	725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
350 当該腫瘍初診日	726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	550 規約肝 c ステージ
360 他施設診断日	730 観血的治療範囲	
370 自施設診断日	740 放射線療法	610 UICC pT
380 診断日	741 放射線療法 施行日	620 UICC pN
400 診断施設	745 放射線療法 (開始前・他施設)	630 UICC pM
410 治療施設	746 放射線療法 (開始後・他施設)	640 UICC p 付加因子
420 症例区分	750 化学療法	600 UICC p ステージ
450 来院経路	751 化学療法 施行日	
460 発見経緯	755 化学療法 (開始前・他施設)	580 c 進展度
470 病名告知の有無	756 化学療法 (開始後・他施設)	680 p 進展度

<症例 8> 48 歳 男性

【現病歴】

右手のしびれ、頭痛を主訴に、2024 年 2 月 26 日 B 病院受診。

29 日頭部 CT 施行。左頭頂葉に腫瘍性病変を認め、脳腫瘍の診断で、精査・治療目的に当院紹介。

【経過】

2023 年 3 月 11 日 当院紹介初診。

2023 年 3 月 14 日 頭部 MRI 施行:左頭頂葉に 5cm 径の腫瘍を認め、造影効果から高悪性度の神経膠腫と診断。

覚醒下手術を行い、術後放射線療法、化学療法を行う旨、本人家族に説明。

2023 年 3 月 26 日 治療目的に入院。

2023 年 3 月 28 日 覚醒下開頭腫瘍切除術施行。

術中 MRI にて残腫瘍を確認するも、昨日温存を考慮した。

2023 年 4 月 10 日 放射線療法開始。

2024 年 4 月 11 日 テモゾロミド投与開始。

2023 年 4 月 30 日 経過良好にて退院。

《病理報告》

Glioblastoma, IDH-wildtype

腫瘍は 50 × 30mm 径。細胞密度が高く、壊死巣周囲に腫瘍細胞の柵状配列がみられる。

IDH1p.R132H、p.53 の変異はなく、Glioblastoma, IDH-wildtype と診断した。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			